

おかべ
岡部 にざえもん
仁左衛門(1883~1960)



花かつお製造創始者。伊予郡尾崎村(現、伊予市)出身。14歳で父親に家業を任され、農作業の合間に焼酎の行商を始め、早朝から犬寄峠(伊予市大平~中山の間の峠)を越えて得意先を回り、苦しい家計を助けた。明治37(1904)年、家業を弟に譲り、伊予郡郡中村米湊(現、伊予市)で海産物商を営んでいたが、行商先の名古屋で削り節を見つけ地元を導入することを思いつく。名古屋から手動式の削り機を購入して改良を加え、当時は地元で獲れるカタクチイワシ・ウルメイワシなどを原料として削り節の製造をはじめ、これを「ヤマニの花かつお」として全国に売り出した。現在、伊予市の花かつおは、全国一の生産量を誇っている。

地場産業の進展に大きく貢献する一方、大正7(1918)年から27年間、郡中村及び郡中町(現、伊予市)の議員として、昭和21(1946)年から郡中町長として町政を担った。また、地元商工会会長を三期務めるなど、産業振興に尽力した。

略歴

- | | |
|------------------|--|
| 明治16(1883)年7月1日 | 伊予郡尾崎村に生まれる。 |
| 明治30(1897)年 | 行商を始める。 |
| 明治37(1904)年 | 郡中村米湊で海産物商を始める。 |
| 大正5(1916)年 | 名古屋で削り節を見つけ、製造を思いつく。 |
| 大正6(1917)年 | 地元で初めて花かつおを作り始める。 |
| 大正7(1918)年 | 花かつおの機械を電力で動くように改良をした。
郡中村の村会議員となる。 |
| 昭和10(1935)年 | 機械が100台になり、工具は300人となる。 |
| 昭和21(1946)年 | 郡中町長となる。 |
| 昭和32(1957)年 | 愛媛新聞社賞受賞 |
| 昭和35(1960)年1月10日 | 76歳で永眠 |

(写真提供：岡部照子氏)

〈関連図書〉

- ・愛媛子どものための伝記刊行会『愛媛子どものための伝記 第2巻 篠原朔太郎・三好保徳・岡部仁左衛門』愛媛県教育会 1983年
 - ・伊予市誌編纂委員会『伊予市誌』伊予市 1986年
 - ・『愛媛県人名大事典』愛媛新聞社 1987年
 - ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
 - ・『発掘えひめ人-近代を拓いた101人-』愛媛新聞社 2002年
- 〈主な収蔵資料〉…(P206, 51)
〈ゆかりのある場所〉…(P284, 83)